

利益相反ポリシー

この「利益相反対策」は、WPIAMのスタッフやボランティアの活動の指針となるものです。本ポリシーに関するご質問は、カンパニー・セクレタリーまでお寄せください。

この方針は、利益相反が発生した場合に、組織が利益相反を特定し、開示し、議論し、適切な判断を下すことを支援するためのガイドラインを提供します。

定義

利害の衝突とは、個人の利益がWPIAMの利益と相反する場合や、個人の忠誠心が分かれるような状況（「利害の二重性」とも呼ばれる）で発生します。利害の衝突に起因する状況や取引は、不適切な金銭的利益、組織の意思決定プロセスにおける誠実さの欠如、および/または規制機関によって課される罰則をもたらす可能性があります。

利益の二重性は避けられないものであり、倫理的かつ透明性のある管理がなされていれば、組織にとって有利になる可能性があります。競合を管理するための適切な行動計画を決定できるように、積極的な開示が必要です。

手続き

年次開示書（本書に含まれる）は、組織が紛争を積極的に管理するのを支援するために、特定の担当者が毎年記入することが求められています。

また、事業活動の過程で認識される潜在的な対立を報告するための追加書式も添付されています。

各会議の開始時に常設の議題項目を設け、会議の参加者に、その会議の議題となっている項目の周りに潜在的な衝突の可能性を宣言するよう要請します。

紛争や、その可能性が出てきたら、すぐに当事者や関係者に開示するように促しています。

1. メンバーの場合、部門長へ
2. 部門長の場合は、経営陣の長（会長）へ、もしくは
3. マネジメント会社とその経営陣へ
4. 上記の紛争状況から離れる可能性が高い上記すべての方

利益相反の可能性を認識した個人は、利害関係のない人物を特定して報告すべきです。利益相反の可能性を報告したい個人が正式に報告したい場合は、添付のフォームを使用することができます。

開示された利害関係者は、開示された利害関係者またはフラグを立てた利害関係者ごとに、利害関係のない3人の個人（管理会社および/または取締役）で構成されるアドホック委員会を設置し、利害関係の有無を決定しなければなりません。

1. 何もしない
2. コンフリクトを避けるための提案
3. 審議・決議を呼びかける

ほとんどの場合、意思決定者が情報に基づいた意思決定を行うことができるように、可能な限り広範な情報開示を行うことが推奨されています。開示の事実と決定結果は、取締役会、抵触フラグを立てた個人、必要に応じて利益相反の可能性のある状況にある個人に報告しなければなりません。

紛争に意思決定者が関与している場合、紛争の当事者（以下「利害関係者」といいます。

- すべての意思決定者に直ちに完全に開示しなければなりません。
- どのような行動をとるべきかの決定には関与しません（例えば、投票に参加しない）、しかし他の意思決定者に必要な情報を提供するためのリソースとしての役割を果たすことができます。
- 場合によっては、紛争の当事者は、紛争の議論に不当な影響を与えないように、センシティブな議論から身を引くように求められることがあります。
- すべての場合において、紛争に関わる決定は、利害関係のない者によってのみ行われます。

紛争が管理された事実とその結果は、紛争が取締役に関連している場合は取締役会の議事録に記録され、紛争が職員に関連している場合は、管理会社から取締役会/取締役会議長/取締役会の他の適切な委員会（リスク&ガバナンス委員会）に報告されます。理事会/管理会社の会長は、組織の提案された、または進行中の取引（業者との契約や第三者との共同作業など）に利益相反がないかどうかを監視し、取引の前後に発見されたかどうかにかかわらず、適宜、理事会および職員に開示します。

以上のことをまとめると、利益相反を管理するための重要なステップは以下の通りです。

開示、議論、決定、文書

潜在的な利益相反または利益の二重性の年次開示

このフォームに記載された情報は、取締役会、管理会社及び顧問弁護士が閲覧できるものとしますが、署名者と協議の上、開示することが当社の最善の利益につながると当社取締役会が判断した場合を除き、その他の情報は秘密に保管します。

名前：

あなたの役割／WPIAMとの関係：

あなたが役員、理事、評議員、パートナー、または従業員である法人、パートナーシップ、協会、その他の組織をすべてリストアップし、そのような組織との関係を記述してください。何もない場合は、**none**または**n/a**と入力してください。

総計で**10%**以上の重要な財務上の利害関係を有する法人・組合等をすべて記載してください。また、実際の所有割合も記載してください。何もない場合は、**none**または**n/a**と入力してください。

WPIAMとご本人、ご家族、事業体との間の既存および/または提案されている取引をリストアップしてください。リストされているそれぞれのそのような関係と、あなたがそれらを最もよく見積もることができるように、実際および潜在的な経済的利益を記述してください。何もない場合は、**none**または**n/a**と入力してください。

私は、本ポリシーの文言と精神に則って行動します。

氏名	日付	署名

ポテンシャルコンフリクトレポート

I _____(あなたの名前)は、懸念事項を報告します。 _____
(個人名)は、以下の事項に関わる決定を行う際に利益相反があります。

該当者には相反する利益があります。

必要に応じて議論を行い、その結果を文書化してフォローアップすることをお願い申し上げます。

氏名	日付	署名